資料２

国土交通省説明資料

令和５年５月２１日

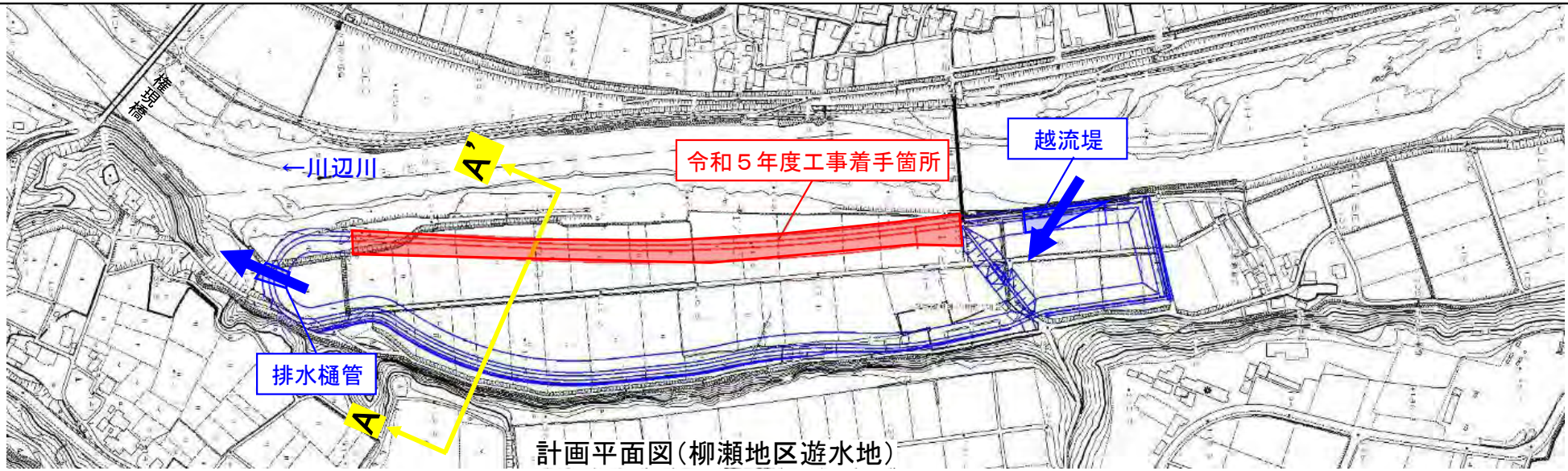
国土交通省　九州地方整備局　八代河川国道事務所
川辺川ダム砂防事務所

柳瀬遊水地の今後の進め方について

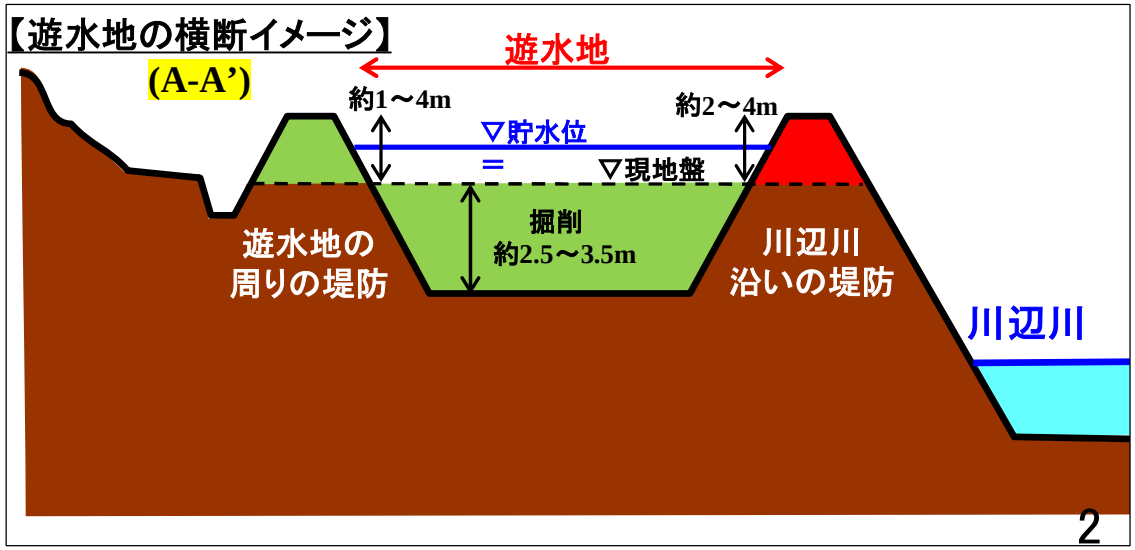
八代河川国道事務所

柳瀬遊水地の今後の進め方について　八代河川国道事務所

- 球磨川の遊水地のなかで最も早期に着手予定
- 令和5年夏頃に地元説明会を開催のうえ、令和5年秋頃から一部区間の堤防工事に着手予定
- 遊水地整備と併せて、平常時の利活用計画についても、国・村により検討中



計画平面図（柳瀬地区遊水地）



相良村における直轄砂防事業

川辺川ダム砂防事務所

川辺川流域における過去の災害

五木村横手谷の大崩落（S38.8集中豪雨） 約230万m^3の土砂が流出

H24.7九州北部豪雨
相良村椎葉地区土石流災害

H16・17の台風出水による大規模な山腹崩壊（約200箇所）（八代市）

初神地区砂防堰堤群（相良村）

●初神地区において「砂防堰堤2基」と「砂防堰堤を造るために必要な工事用道路」の整備を計画しています。
●「工事用道路」は、砂防堰堤が完成した後もそのまま残し、「砂防堰堤に貯まった土砂を取り除く際にダンプトラック等が通ることを目的とした国の管理用道路」とする計画です。

今年度は、砂防堰堤及び工事（管理）用道路の用地取得、流末排水路の測量・設計を行う予定です。

※管理用道路は、一般の方々の使用や一般車両の通行を想定しているものではないため、国が普段使用しない間は、進入を禁止するための通行止めや立入禁止の注意看板等を現地に設置することになります。

令和4年12月18日　初神地区説明会

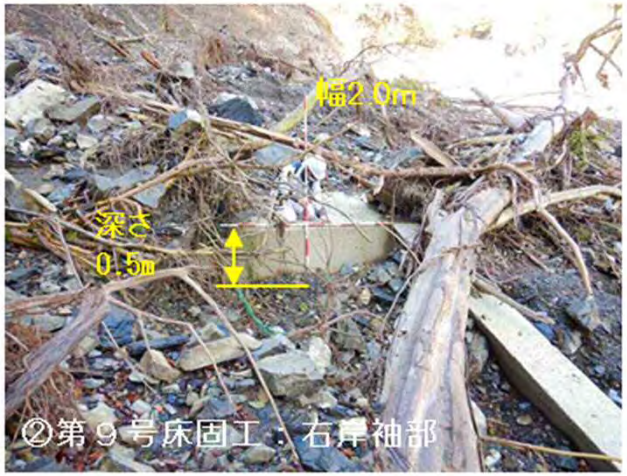
砂防堰堤で受け止め、下流での土砂災害を防ぎます。

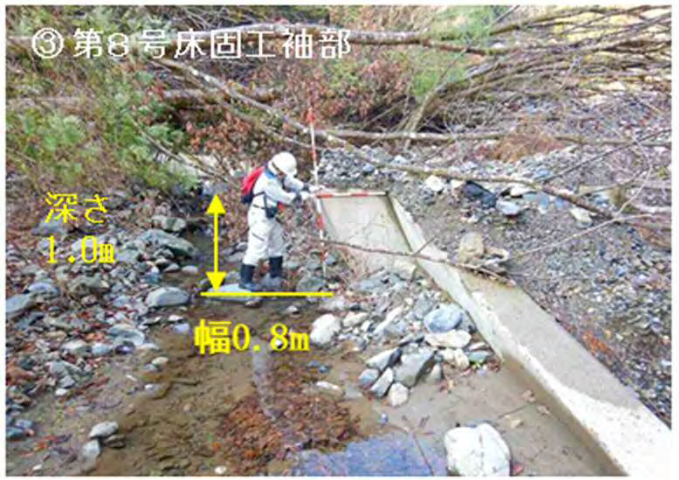
椎葉谷川流路工補修（相良村）

今年度は砂防堰堤と第９号床固工の間の流路工の補修を行う予定です。

椎葉谷川流路工補修（相良村）

令和３年度、砂防堰堤と第９号床固工の間の土砂を撤去し、大型土のうで仮設流路工を整備しました。

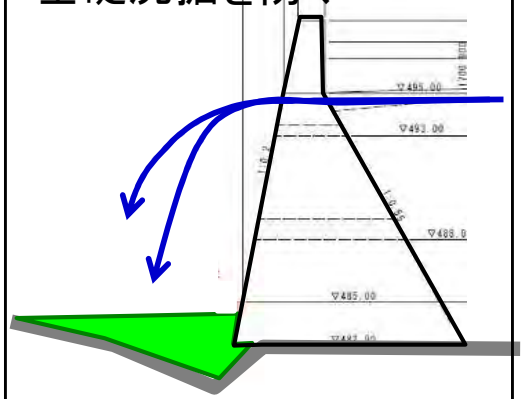




田代川第２砂防堰堤補修（相良村）

○既設の田代川第2砂防堰堤（平成6年完成）の基礎洗掘対策（水たたき部のコンクリート打設）を実施して補修します。

水たたき部に新たにコンクリートを打設し、基礎洗掘を防ぐ



UAVによる渓流状況把握

川辺川ダム砂防事務所
九州防災・火山技術センター
土砂災害対策分室

災害時に道路が断絶し人力での点検ができない状況を想定し、砂防施設が連続的に配置する八代市泉町久連子の渓流において、UAVで概括的な**渓流状況の把握**をする**長距離飛行試験**（飛行20分程度）を行いました。

総距離13km，飛行時間13分

砂防堰堤の確認

流木捕捉状況

道路崩壊状況

道路崩壊状況

川辺川の濁りについて

川辺川ダム砂防事務所

令和4年9月台風14号後の川辺川濁水現地状況（2022.10.4時点）

○濁りの発生源として、平成17年台風14号と同様に五家荘大橋上下流の河床に大量の土砂が堆積し、その上を水が流れることで、流下に従って濁りが蓄積されていることが目視で確認【　ー；濁水区間、○；発生源の可能性あり】

濁り（白濁）

取水口（川辺川は濁りあり（茶色）

五木小川は透明

入鴨川は透明

梶原川は合流先本川と同様の濁り（白濁）

頭地地区下流は同様の濁り（白濁）

令和4年9月台風14号後の川辺川濁水現地状況（2022.9.28⇒10.3の変化）

○日数の経過とともに、川辺川の濁りが、茶褐色から白濁に変化している。【目視確認】

① 五木小川合流点【川辺川 濁水あり（茶色）、五木小川 濁りなし】

撮影日：R4.9.28

① 五木小川合流点【川辺川 濁りあり（白濁色）、五木小川 濁りなし】

撮影日：R4.10.3

② 梶原川合流点【川辺川 濁水あり（茶色）、梶原川 濁水あり（薄茶色）】

撮影日：R4.9.28

② 梶原川合流点【川辺川 濁りあり（白濁色）、梶原川 濁りあり（白濁色）】

撮影日：R4.10.3

令和4年9月台風14号後の川辺川濁水現地状況（2022.9.28⇒10.3の変化）

③ 宮園橋【川辺川 濁水あり（茶色）】

撮影日：R4.9.28

③ 宮園橋【川辺川 濁りあり（白濁色）】

撮影日：R4.10.3

④ 葉木川合流点【樅木川 濁りあり（茶色）、葉木川 濁りなし】

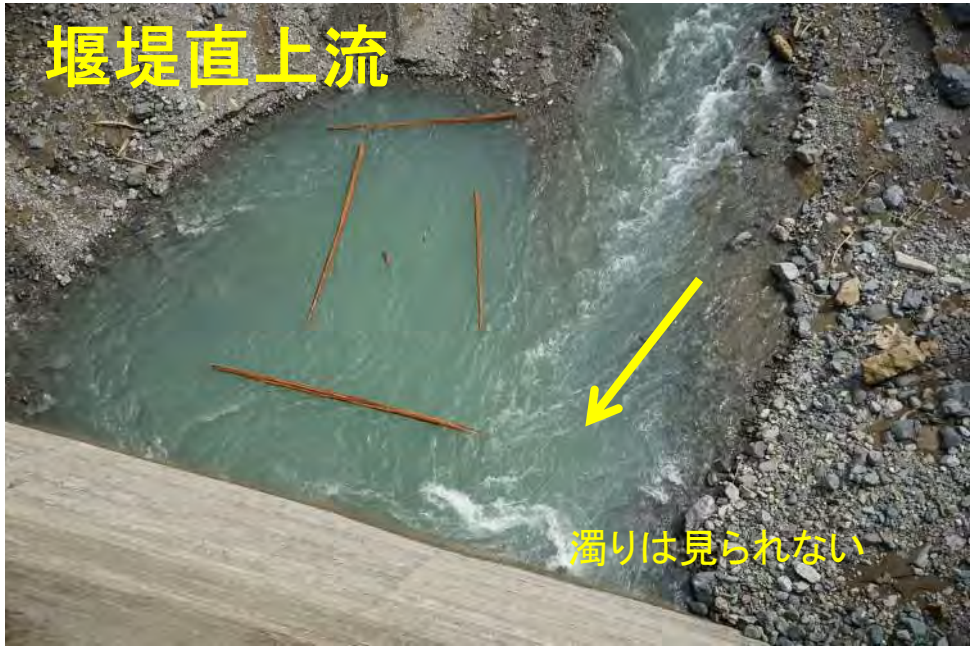
撮影日：R4.9.28

④ 葉木川合流点【樅木川 濁りあり（茶色）、葉木川 濁りなし】

撮影日：R4.10.3

令和4年9月台風14号後の川辺川濁水現地状況（樅木砂防堰堤の状況）9月29日撮影

○椛木砂防堰堤の上下流及び堰堤直下において濁りの変化は見られていない。【目視確認】



令和4年9月台風14号後の川辺川の濁水の発生源調査（五家荘付近）10月5日調査

○濁りの発生の要因として、台風14号による強雨により、河川に大量の土砂が流入。その後、水位が低下した後（無降雨時）も、急流区間において、流水の掃流作用により堆積土砂の侵食が続いたことが濁水の長期化の要因と推測。

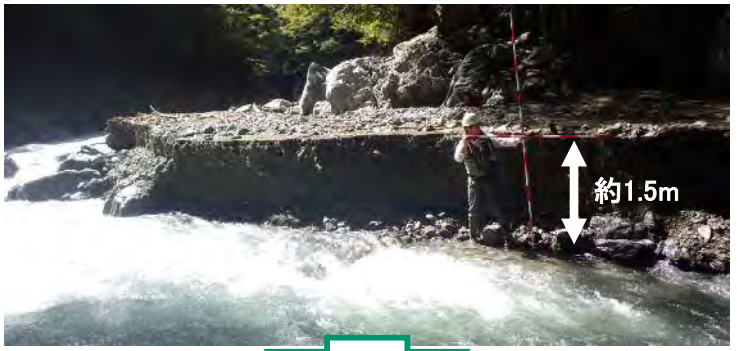
※今後の調査により訂正の可能性あり

採水した水

下流　　上流

上流

【葉木川合流点より 約1400m上流】



【葉木川合流点より 約1100m上流】

【葉木川合流点より 約500m上流】

下流

堆積土砂量

流水による浸食により、側岸の堆積土砂がボロボロ落水していた

直近の濁水調査①

出水後及び豪雨後に濁水の定点調査を行っています。

〈撮影場所：五木小川合流点〉

撮影日：R5.4.21

5月連休の雨

撮影日：R5.5.11

・令和4年9月より月1回定点で写真撮影しています。
・川辺川砂防ダム事務所のHPにも掲載されています。

直近の濁水調査②

出水後及び豪雨後に濁水の定点調査を行っています。

〈撮影場所：梶原川合流点〉

撮影日：R5.4.21　5月連休の雨　撮影日：R5.5.11

・令和4年9月より月1回定点で写真撮影しています。
・川辺川砂防ダム事務所のHPにも掲載されています。

直近の濁水調査③

出水後及び豪雨後に濁水の定点調査を行っています。

〈撮影場所：宮園橋上流〉

撮影日：R5.4.21

5月連休の雨

撮影日：R5.5.11

・令和4年9月より月1回定点で写真撮影しています。
・川辺川砂防ダム事務所のHPにも掲載されています。

直近の濁水調査④

出水後及び豪雨後に濁水の定点調査を行っています。

〈撮影場所：樅木川・葉木川合流点〉

撮影日：R5.4.21

5月連休の雨

撮影日：R5.5.11

・令和4年9月より月1回定点で写真撮影しています。
・川辺川砂防ダム事務所のHPにも掲載されています。

直近の濁水調査⑤

出水後及び豪雨後に濁水の定点調査を行っています。

〈撮影場所：樅木砂防堰堤〉

撮影日：R5.4.21

↑樅木砂防堰堤

5月連休の雨

撮影日：R5.5.11

↑樅木砂防堰堤

・令和4年9月より月1回定点で写真撮影しています。
・川辺川砂防ダム事務所のHPにも掲載されています。

直近の濁水調査⑥

出水後及び豪雨後に濁水の定点調査を行っています。

〈撮影場所：樅木砂防堰堤直上流〉

↑
樅木砂防堰堤

撮影日：R5.4.21

5月連休の雨

↑
樅木砂防堰堤

撮影日：R5.5.11

・令和4年9月より月1回定点で写真撮影しています。
・川辺川砂防ダム事務所のHPにも掲載されています。

直近の濁水調査⑦

出水後及び豪雨後に濁水の定点調査を行っています。

〈撮影場所：川辺川・久連子川合流点〉

・令和４年９月より月１回定点で写真撮影しています。
・川辺川砂防ダム事務所のHPにも掲載されています。

国、県協同による危険箇所への大型土のう設置、補修

川辺川ダム砂防事務所

国、県協同による危険箇所への大型土のう設置、補修　　川辺川ダム砂防事務所

○相良村から緊急的に依頼があった水防上の危険箇所に対し、出水期までに**大型土のうの設置、補修を国、県協同で実施中**。
○相良村内の川辺川沿いに設置する大型土のうは**約７００袋**。

現在、製作、ストック中

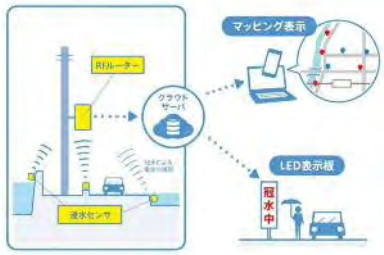
今後、積込、運搬、設置

浸水センサの試行的な設置

川辺川ダム砂防事務所

浸水センサの試行的な設置　　川辺川ダム砂防事務所

○国土交通省より相良村へ相良村内の防災に役立てるべく、全国で試行的に実証実験が行われている開発中の浸水センサの活用をご提案

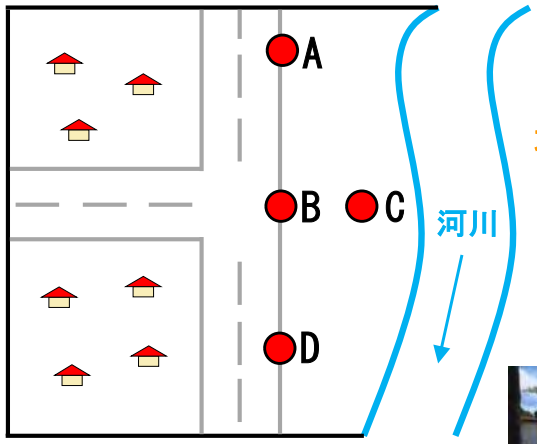


○浸水センサ設置により近年、大雨による浸水被害が頻発している相良村内の浸水状況を速やかに把握し、迅速な災害対応や地域への情報発信に寄与

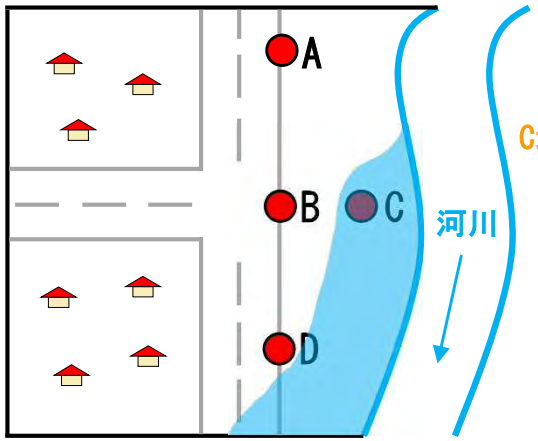
浸水センサとは

浸水センサを水平に複数設置することで、面的な浸水範囲、垂直に設置することで、段階的な浸水深を測定することができ、自治体へ情報を発信する。

例）浸水常習地区イメージ



大雨により浸水



C地点の浸水を検知

相良村へ浸水情報を発信

● 浸水センサ設置箇所

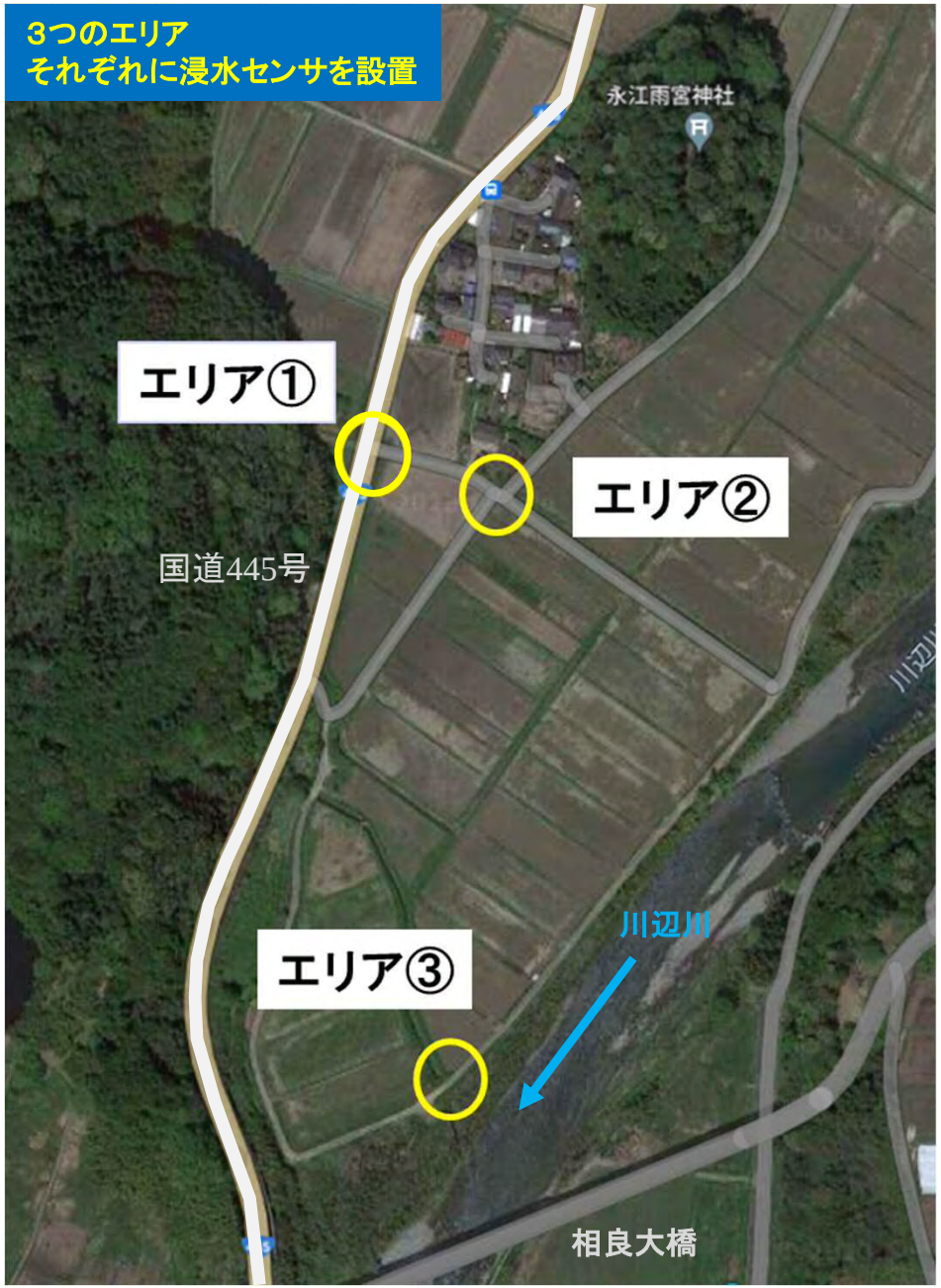
- 避難誘導への活用
- 洪水後浸水状況の把握
- 内水対策への活用　等に役立てる

○今回、相良村内の2地区において、試行的に設置

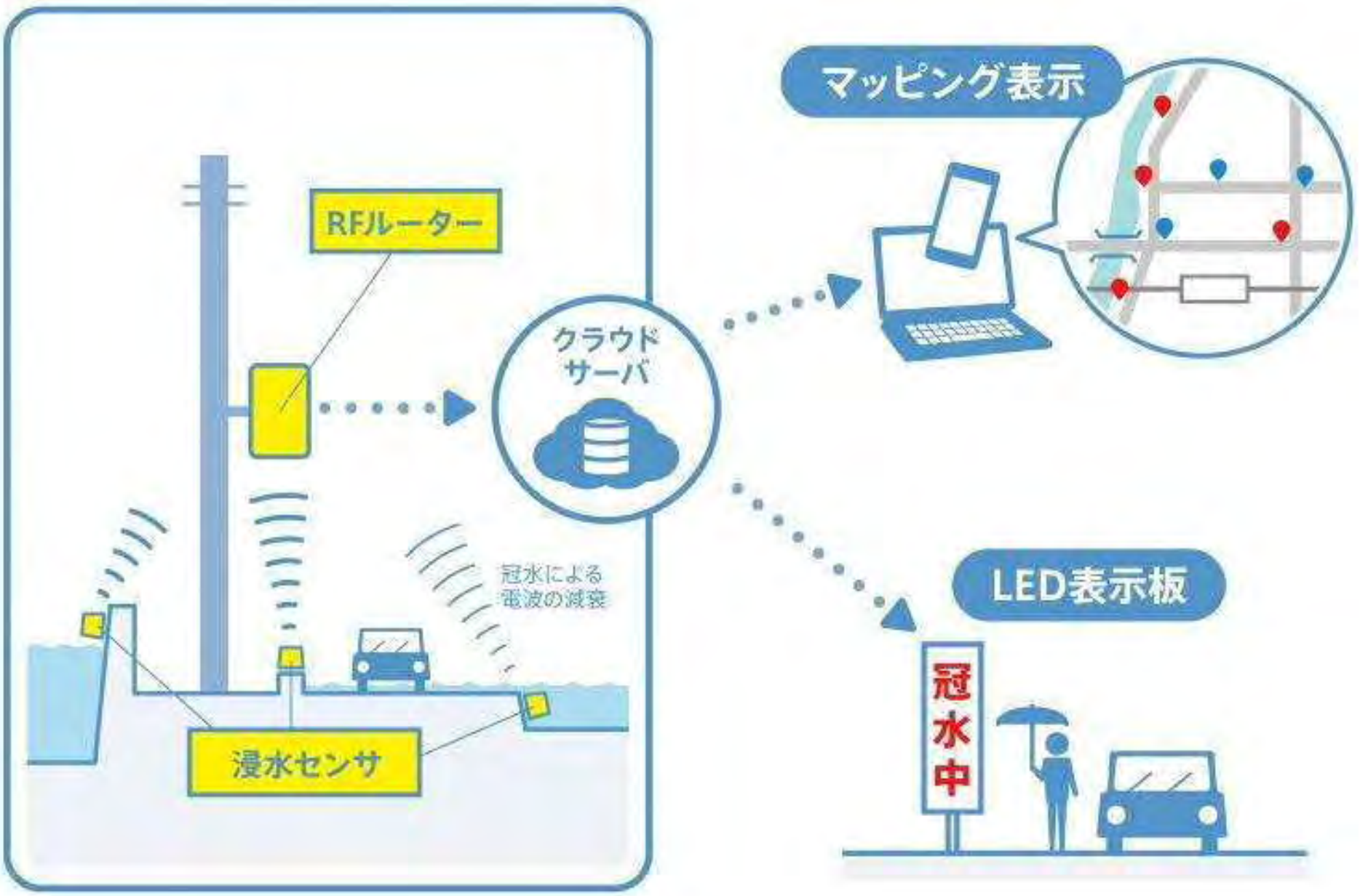
浸水センサの設置予定箇所

川辺川ダム砂防事務所

地点①　永江地区



地点②　下四浦地区


RFルーター
クラウド
サーバ
冠水による
電波の減衰
浸水センサ
マッピング表示
LED表示板
冠
水
中